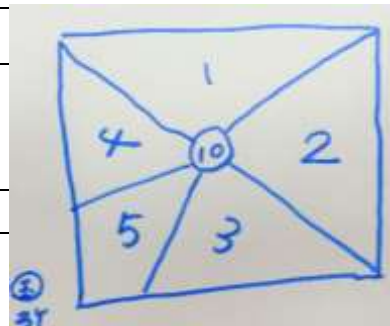


【5.計算力】 足す、引く、割る、掛けるなどの計算をする力

⑩ボールでダーツ

【必要物品】	色違いのフェルト布、マジックテープ、軽いボール、紙、ペン
【実施人数】	2人～20人
【ルール】	1、参加者を2チームに分ける 2、引っ付くボールを投げて合計点数を競う 3、1チームずつ交代する
【実施時の注意点】	投げる人の邪魔をしない
【おすすめポイント、アレンジ方法等】	ダーツ布の点数、角度を変えて行う
【作業療法士からのコメント】	人数に応じて、個人戦、チーム戦のいずれでも実施できます。合計点を競うのとは逆に、30点から得点を引いていき、ちょうど0になるのを競うやり方もあります。慣れてきたら投げる距離を遠くしたり、奇数は2倍といった形にするとより計算力を使います。



⑪秋、長月

【必要物品】	紙、色鉛筆
【実施人数】	1人～
【ルール】	1、偶数のみ色鉛筆で塗りつぶす 2、浮かんだ言葉を漢字に書き直す
【作業療法士からのコメント】	問題を作るところから知的活動になります。表の中の2の倍数、3の倍数を塗りつぶすというやり方でも計算力を使うことができます。

1	3	7	9	1	5	7	9	3	1
5	7	4	6	8	2	4	6	5	3
7	9	6	3	9	1	7	8	7	5
5	5	8	2	4	6	8	2	9	7
3	7	2	5	3	1	9	4	1	9
5	1	4	6	8	2	4	6	3	1
3	5	6	1	3	5	7	8	5	3
1	8	9	3	5	7	9	4	7	5
4	1	5	1	7	8	6	2	9	7

⑫老人クラブ地区対抗試合

【必要物品】	賞品（1位～3位）、参加賞、ホールインワン賞、G・G用具一式、人数分の成績一覧表
【実施人数】	50人～55人
【ルール】	1、案内状を配布する 2、参加者の取りまとめを行う 3、賞品を買う 4、試合を行う 5、結果を集計する
【実施時の注意点】	スポーツ保険に加入しておく、雨天の場合どうするか決めておく、コロナ対策をする
【おすすめポイント、アレンジ方法等】	元気に明るくゲームをする
【作業療法士からのコメント】	案内状や参加者の数をチェックする、商品を買う、結果の集計など、いろいろな場面で計算力を使います。うまく役割分担をして進めましょう。たくさんの方が集まるイベントは、より社会的な交流も促進されます。

